

多様な動きをつくる運動

(第3学年)

多様な動きをつくる運動は、体を動かす楽しさや喜びに触れるとともに、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをし、それらを組み合わせることをして、基本的な動きを身に付ける運動です。本単元例は、1時間の中で二つの運動に取り組む時間の後に、二つ以上の動きを組み合わせた運動をする時間を設定することで、四つの基本的な動きとそれらを組み合わせる運動に自己の課題に応じた行い方を選んで取り組むことができる授業を展開するようにしています。

単元の目標

- (1) 多様な動きをつくる運動の行い方を知るとともに、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをし、それらを組み合わせることができるようにする。
- (2) 自己の課題を見付け、その解決のための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。
- (3) 多様な動きをつくる運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。

指導と評価の計画〔13 時間 (体づくり運動の 16 時間のうち)〕

時 間		1	2	3	4	5	6	7
ね ら い		体ほぐしの運動の 学習の見通しをもつ	体ほぐしの運動の行い方を知り、 行い方を工夫して、心と体の変化に 気付いたりみんなで関わり合ったり することを楽しむ		多様な動きをつくる運動の 学習の見通しをもつ			
学 習 活 動		オリエンテーション 1 集合、挨拶、健康観察をする 2 単元の学習の見通しをもつ ○単元の目標と学習の進め方を知る。 ○学習のきまりを知る。 3 本時のねらいを知り、目標を立てる 4 場や用具の準備をする ○場や用具の準備や片付けの仕方を知る。 5 準備運動をする ○準備運動の行い方を知る。 6 体ほぐしの運動をする ○体ほぐしの運動の行い方を知る。 ○学級全体やペア、グループで体ほぐしの運動をする。	1 集合、挨拶、健康観察をする 2 本時のねらい知り、目標を立てる 3 場や用具の準備をする 4 心と体の状態に気付く 5 準備運動をする。 6 体ほぐしの運動をする ○学級全体やペア、グループで体ほぐしの運動をする。 ○心のめもりで、自己や友達の心と体の変化に気付く。 ○体ほぐしの運動の工夫の仕方を知る。 ○自己の課題の解決のための運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりする。 ○課題解決のために考えたことを伝える。		オリエンテーション 1 集合、挨拶、健康観察をする 2 単元の学習の見通しをもつ ○単元の目標と学習の進め方を知る。 ○学習のきまりを知る。 3 本時のねらいを知り、目標を立てる 4 場や用具の準備をする ○場や用具の準備や片付けの仕方を知る。 5 準備運動、体ほぐしの運動をする ○準備運動、体ほぐしの運動の行い方を知る。 6 多様な動きをつくる運動をする ○多様な動きをつくる運動の行い方を知る。 ○ペアやグループで多様な動きをつくる運動をする。	1 集合、挨拶、健康観 4 準備運動、体ほぐし 5 体を移動する運動をする ○運動の行い方を知る。 ○ペアやグループで運動をする。 ○運動の工夫の仕方を知る。 ○運動の行い方を選んだり友達と工夫したりする。 ○課題解決のために考えたことを伝える。 6 用具を操作する運動をする ○運動の行い方を知る。 ○ペアやグループで運動をする。 ○運動の工夫の仕方を知る。 ○運動の行い方を選んだり友達と工夫したりする。 ○課題解決のために考えたことを伝える。		
		7 本時を振り返り、次時への見通しをもつ		8 整理運動、場や用具の片付けをする	9 集合、健康観			
評価の重点	知識・技能	① 観察・学習カード			② 観察・学習カード		④・⑤ 観察	
	思考・判断・表現		① 観察・学習カード	③ 観察・学習カード				
	主体的に学習に取り組む態度		① 観察・学習カード				⑥ 観察・学習カード	

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①体ほぐしの運動の行い方について、言ったり書いたりしている。	①体ほぐしの運動の自己の課題を見付け、その課題を解決するために様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。	①体ほぐしの運動に進んで取り組もうとしている。
②多様な動きをつくる運動の行い方について、言ったり書いたりしている。	②多様な動きをつくる運動の自己の課題を見付け、その課題を解決するために様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。	②多様な動きをつくる運動に進んで取り組もうとしている。
③体のバランスをとる動きをすることができる。	③楽しく運動をしながら心と体の変化に気付いたことや、友達と関わり合うための運動の行い方について、考えたことや見付けたことを友達に伝えている。	③きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合おうとしている。
④体を移動する動きをすることができる。	④多様な動きを身に付けるための運動の行い方について、考えたことや見付けたことを友達に伝えている。	④用具の準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。
⑤用具を操作する動きをすることができる。		⑤友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。
⑥力試しの動きをすることができる。		⑥用具や活動する場の安全を確かめている。
⑦基本的な動きを組み合わせる動きをすることができる。		

8	9	10	11	12	13	14	15	16	
多様な動きをつくる運動の行い方を知り、行い方を工夫したり、それらの運動を組み合わせたりすることを楽しむ					課題の解決のための方法を工夫して基本的な動きを組み合わせる運動を楽しむ			学習のまとめをする	
察をする 2 本時のねらい知り、目標を立てる 3 場や用具の準備をする									
の運動をする									
5 体を移動する運動と用具を操作する運動を組み合わせた運動をする ○運動の行い方を知る。 ○ペアやグループで運動をする。		5 体のバランスをとる運動をする ○運動の行い方を知る。 ○ペアやグループで運動をする。 ○運動の工夫の仕方を知る。 ○運動の行い方を選んだり友達と工夫したりする。 ○課題解決のために考えたことを伝える。		5 体のバランスをとる運動と力試しの運動を組み合わせた運動をする ○運動の行い方を知る。 ○ペアやグループで運動をする。		5 基本的な動きを組み合わせる運動をする ○基本的な動きを組み合わせる運動の行い方を知る。 ○ペアやグループで基本的な動きを組み合わせる運動をする。		学習のまとめ 5 基本的な動きを組み合わせる運動をする ○運動の行い方を選んだり友達と工夫したりする。 ○選んだ運動や工夫した行い方を紹介したり、他のグループが選んだ運動や工夫した行い方を試したりする。 6 単元を振り返り、学習のまとめをする 7 整理運動、場や用具の片付けをする 8 集合、健康観察、挨拶をする	
6 体を移動する運動と用具を操作する運動の組合せ方を工夫する ○運動の工夫の仕方を知る。 ○運動の行い方を選んだり友達と工夫したりする。 ○課題解決のために考えたことを伝える。		6 力試しの運動をする ○運動の行い方を知る。 ○ペアやグループで運動をする。 ○運動の工夫の仕方を知る。 ○運動の行い方を選んだり友達と工夫したりする。 ○課題解決のために考えたことを伝える。		6 体のバランスをとる運動と力試しの運動の組合せ方を工夫する ○運動の工夫の仕方を知る。 ○運動の行い方を選んだり友達と工夫したりする。 ○課題解決のために考えたことを伝える。		6 基本的な運動を組み合わせる運動を工夫する ○基本的な運動を組み合わせる運動の工夫の仕方を知る。 ○運動の行い方を選んだり友達と工夫したりして、基本的な運動を組み合わせる運動をする。 ○課題解決のために考えたことを伝える。			
察、挨拶をする									
		③・⑥ 観察							⑦ 観察
						② 観察・学習カード ④ 観察・学習カード			
④ 観察・学習カード		③ 観察・学習カード		⑤ 観察・学習カード				② 観察・学習カード	

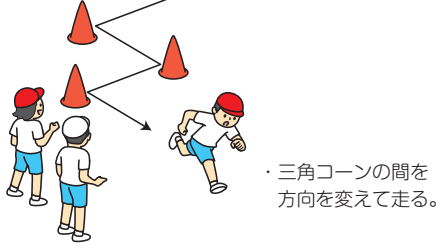
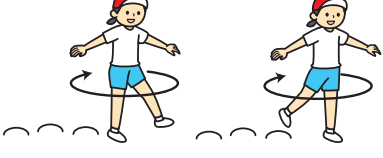
本時の目標と展開①（4／16時間）

本時の目標

- (1) 多様な動きをつくる運動の行い方を知ることができるようにする。
- (2) 多様な動きをつくる運動の自己の課題を見付け、その課題を解決するために様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりすることができるようにする。
- (3) 用具や活動する場の安全を確かめることができるようにする。

本時の展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点
5分	1 集合、挨拶、健康観察をする 2 単元の学習の見通しをもつ ○単元の目標と学習の進め方を知る。 ○学習をするグループを確認する。 ○学習のきまりを知る。 学習のきまりの例 ・用具は正しく使いましょう。 ・運動前には、場の安全を確かめましょう。 ・友達との間隔をとって運動をしましょう。	● 掲示物を活用するなどしながら、分かりやすく説明する。 ● 学習をするグループを事前に決めておく。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合いましょう。 ・グループの友達の考えを認めましょう。
	3 本時のねらいを知り、目標を立てる 多様な動きをつくる運動の学習の進め方を知り、学習の見通しをもとう ○本時のねらいを知り、自己の目標を立てる。	● 学習カードを配り、使い方を説明する。
15分	4 場や用具の準備をする ○場や用具の準備と片付けの仕方を知る。 ○グループで協力して、準備をする。 場や用具の準備の仕方の例 ・活動をする場所に危険物がないか気を配り、見付けたら取り除きましょう。 ・運動に使う用具は、決まった場所から使うものだけを取り、使い終わったら片付けましょう。 ・安全に運動ができるように服装などが整っているか、友達と確かめ合いましょう。	● 安全な準備と片付けの仕方を説明する。 ● 安全を確かめている様子を取り上げて、称賛する。
	5 準備運動、体ほぐしの運動をする ○準備運動、体ほぐしの運動の行い方を知る。 ○学級全体やグループで準備運動、体ほぐしの運動をする。 準備運動の行い方の例 肩、腕、手首、腿、膝、ふくらはぎ、足首などをほぐす運動を行う。 体ほぐしの運動の行い方の例	● けがの防止のために適切な準備運動の行い方について、実際に動いて示しながら説明する。
	 ・膝タッチ ・つま先タッチ ・二人組でのなわとび	◎友達と関わり合うことに意欲的でない児童への配慮の例 ➡ 意欲的に取り組む児童とペアやグループを組み、友達の動きに刺激を受けて一緒に運動に挑戦できるようにするなどの配慮をする。

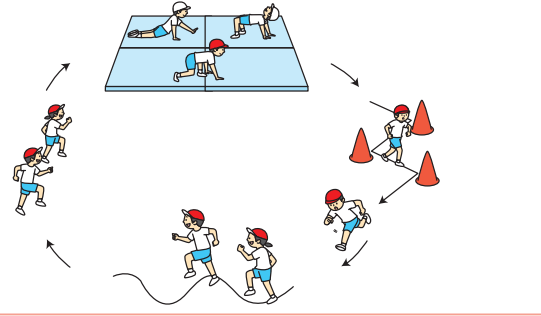
20分	6 多様な動きをつくる運動をする ○多様な動きをつくる運動の行い方を知る。 ○ペアやグループで多様な動きをつくる運動をする。 多様な動きをつくる運動の行い方の例 ○体を移動する運動  ・三角コーンの間を方向を変えて走る。 ○体のバランスをとる運動  ・片足を軸にして回る、両足で跳んで回転をする ・片足を軸にして、回りながら移動する。 ・1/2回転、3/4回転、1回転やそれ以上の回転をする。 ○力試しの運動 友達をおんぶして運んだり、手押し車で移動したりする   ・場に数か所の停留所をつくり、二人組になった友達を行きたい停留所までおんぶや手押し車で運ぶ。 ○用具を操作する運動 ボールをねらったところに真っ直ぐ転がす  ・友達と向かい合ってボールを転がし合う。 ・的の大きさや転がす距離が異なる場でボールを転がす当てゲームをする。	● 多様な動きをつくる運動の行い方について、学習資料やICT機器を活用したり、実際に動いて示したりしながら説明する。
5分	7 本時を振り返り、次時への見通しをもつ 本時の振り返り ・多様な動きをつくる運動の行い方について、知ったことを書きましょう。 ・単元の学習で身に付けたいことや楽しみたいことなど、自己の目標を書きましょう。 ○振り返りを発表して、友達に伝える。	● 振り返りを学習カードに記入するように伝えとともに、気付きや考えのよさを取り上げて、称賛する。 ◆学習評価◆ 知識・技能 ②多様な動きをつくる運動の行い方について、言ったり書いたりしている。 ➡ 多様な動きを身に付けたり、動きの質を高めたりする多様な動きをつくる運動の行い方について、発表したり学習カードに記入したりしていることを評価する。(観察・学習カード) ◎多様な動きをつくる運動の行い方を知ることが苦手な児童への配慮の例 ➡ 個別に関わり、行い方のポイントについて対話をしながら確認をするなどの配慮をする。
	8 整理運動、場や用具の片付けをする 9 集合、健康観察、挨拶をする	● 整理運動の行い方について、実際に動いて示しながら説明するとともに、けががないかなどを確認する。

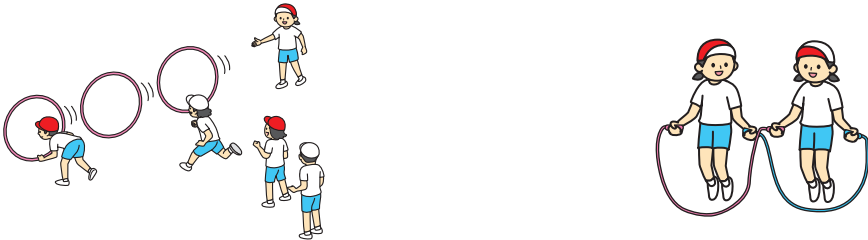
本時の目標と展開②（5／16時間）

本時の目標

- (1) 体を移動する動き、用具を操作する動きをすることができる。
- (2) 多様な動きをつくる運動の自己の課題を見付け、その課題を解決するために様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりすることができるようにする。
- (3) 用具や活動する場の安全を確かめることができるようにする。

本時の展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点
10分	1 集合、挨拶、健康観察をする 2 本時のねらいを知り、目標を立てる	
	運動の行い方を工夫して、体を移動する運動と用具を操作する運動をしよう ○本時のねらいを知り、自己の目標を立てる。 3 場や用具の準備をする ○グループで協力して、準備をする。 4 準備運動、体ほぐしの運動をする ○グループで準備運動をする。 ○ペアやグループで体ほぐしの運動をする。	●学習カードを配り、立てた目標を記入するように伝える。 ●安全な準備の仕方を確認する。 ●けがの防止のために適切な準備運動を行うように伝える。 ●学習した運動の中から選んだ体ほぐしの運動の行い方について、実際に動いて示しながら説明する。
15分	5 体を移動する運動をする ○体を移動する運動の行い方を知る。 ○ペアやグループで体を移動する運動をする。	●体を移動する運動の行い方について、学習資料やＩＣＴ機器を活用したり、実際に動いて示したりしながら説明する。
	体を移動する運動の行い方の例 ○這う、歩く、走るなどの動きで構成さる運動 ○一定の速さでのかけ足  ・物や用具の間を速さや方向を変えて行う。 ・無理のない速さでかけ足を3～4分程度続ける。 ◎体を移動する運動が苦手な児童への配慮の例 ➡ 這う、歩く、走るなどの動きが苦手な児童には、広い場所で前や後ろに移動したり、物や用具の間をゆっくりと移動したりするなど易しい条件で行うことができるようにするなどの配慮をする。 ○体を移動する運動の工夫の仕方を知る。 ○運動の行い方を選んだり友達と工夫したりして、体を移動する運動をする。 体を移動する運動の行い方の工夫の仕方の例 ○場を工夫する 這う、歩く、走るなどの動きと登る、下りるなどの動きを行う場をつなげたり選んだりする。 ・行う運動を選ぶことができる場を工夫する ・分かれ道を作って、進む場を選ぶことができるようにする  ○課題の解決のために考えたことを伝える。	●考えたことを伝えていることを取り上げて、称賛する。

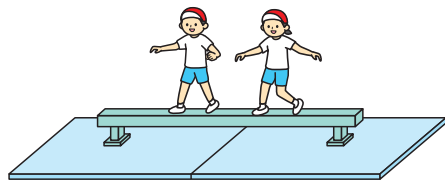
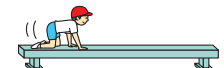
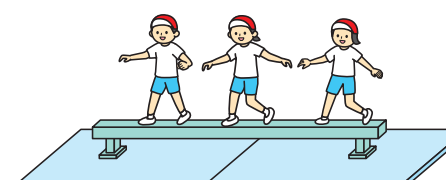
15分	6 用具を操作する運動をする ○用具を操作する運動の行い方を知る。 ○ペアやグループで用具を操作する運動をする。	●学習資料やICT機器を活用したり、実際に動いて示したりしながら説明する。
	用具を操作する運動の行い方の例 ○用具を転がす、くぐる、運ぶなどの動きで構成される運動 ○用具を跳ぶなどの動きで構成される運動  ・転がしたフープをくぐる。 ・足で回してステップをする。 ・短なわや長なわを続けて跳ぶ。	
5分	用具を操作する運動の工夫の仕方の例 ○連続でできる人数や回数に挑戦する ○なわの回し方や跳び方を工夫する  ・連続で何人がくぐるか挑戦する。 ・連続で何回できるか挑戦する。 ・短なわや長なわでいろいろな跳び方をする。	●安全を確かめている様子を取り上げて、称賛する。 ◆学習評価◆ 思考・判断・表現 ⑥用具や活動する場の安全を確かめている。 ➡活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりしている姿を評価する。(観察・学習カード) ◎安全を確かめることに意欲的でない児童への配慮の例 ➡場の危険物や用具の使い方などを確かめるように声をかけたり、グループの友達と一緒に安全を確かめて、安全であることを伝え合ったりするなどの配慮をする。 ●考えたことを伝えていることを取り上げて、称賛する。
	7 本時を振り返り、次時への見通しをもつ 本時の振り返り ・運動の行い方を工夫して、見付けたことや考えたことを書きましよう。 ・安全を確かめることについて、気付いたことや考えたことを書きましよう。 ○振り返りを発表して、友達に伝える。 8 整理運動、場や用具の片付けをする 9 集合、健康観察、挨拶をする	●振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに、気付きや考えのよさを取り上げて、称賛する。 ●適切な整理運動を行うように伝えるとともに、けががないかなどを確認する。 

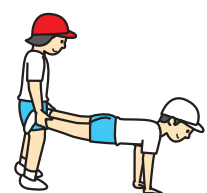
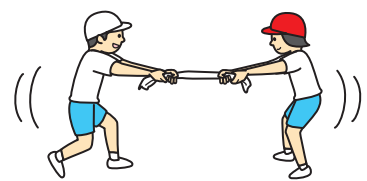
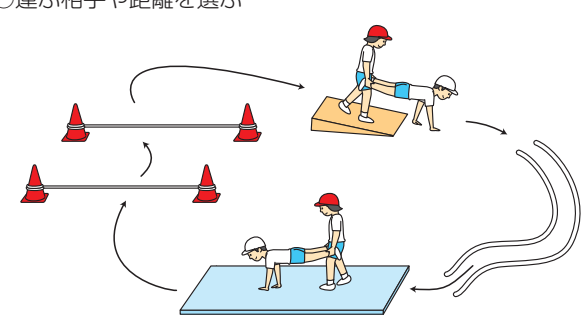
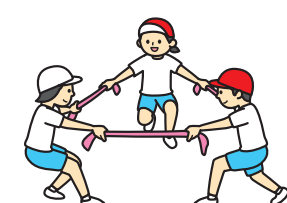
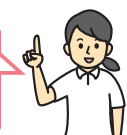
本時の目標と展開③（9／16時間）

本時の目標

- (1) 体のバランスをとる動き、力試しをする動きをすることができるようにする。
- (2) 多様な動きをつくる運動の自己の課題を見付け、その課題を解決するために様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりすることができるようにする。
- (3) きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合うことができるようにする。

本時の展開

時 間	学習内容・活動	指導上の留意点
10分	1 集合、挨拶、健康観察をする 2 本時のねらいを知り、目標を立てる	
	運動の行い方を工夫して、体のバランスをとる運動と力試しの運動をしよう ○本時のねらいを知り、自己の目標を立てる。 3 場や用具の準備をする ○グループで協力して、準備をする。 4 準備運動、体ほぐしの運動をする ○グループで準備運動をする。 ○ペアやグループで体ほぐしの運動をする。	●学習カードを配り、立てた目標を記入するように伝える。 ●安全な準備の仕方を確認する。 ●けがの防止のために適切な準備運動を行うように伝える。 ●学習した運動の中から選んだ体ほぐしの運動の行い方について、実際に動いて示しながら説明する。
15分	5 体のバランスをとる運動をする ○体のバランスをとる運動の行い方を知る。 ○ペアやグループで体のバランスをとる運動をする。 体のバランスをとる運動の行い方の例 ○渡るなどの動きで構成される運動 平均台などの上をいろいろな歩き方で渡る  ・両手と膝を着きながら渡る。 ・しゃがみながら渡る。  ・はいはいで渡る。  ・後ろ歩きで渡る。  ・横歩きで渡る。 ○体のバランスをとる運動が苦手な児童への配慮の例 ➡ 渡るなどの動きが苦手な児童には、平面に描いた細い通路や、新聞紙や段ボールなどで作った用具を用いて、広さや高さを易しくした場づくりをするなどの配慮をする。 ○体のバランスをとる運動の工夫の仕方を知る。 ○運動の行い方を選んだり友達と工夫したりして、体のバランスをとる運動をする。	●体のバランスをとる運動の行い方について、学習資料やＩＣＴ機器を活用したり、実際に動いて示したりしながら説明する。
	体のバランスをとる運動の工夫の仕方の例 ○場や取り組む人数を工夫する  ・通路の上に易しい障害物を置く。  ・友達と連なって渡る。 ○課題の解決のために考えたことを伝える。	●運動の工夫の仕方、学習資料やＩＣＴ機器を活用したり、実際に動いて示したりしながら説明する。 ●考えたことを伝えて、称賛する。

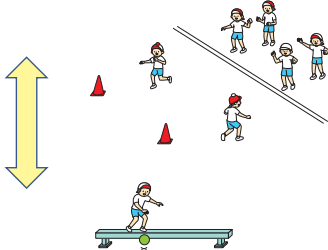
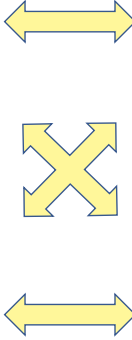
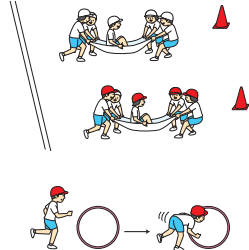
15分	6 力試しの運動をする ○力試しの運動の行い方を知る。 ○ペアやグループで力試しの運動をする。 力試しの運動の行い方の例 ○人を運ぶ、支えるなどの動きで構成される運動  ○人を引く動きで構成される運動  ○力試しの運動が苦手な児童への配慮の例 ➡ 人を運ぶ、支える動きが苦手な児童には、補助を受けながらゆっくりと動いたり、手の平でしっかりと地面や床を押し付けたりして行うことができるようにするなどの配慮をする。 ○力試しの運動の工夫の仕方を知る。 ○運動の行い方を選んだり友達と工夫したりして、力試しの運動をする。	●力試しの運動の行い方について、学習資料やＩＣＴ機器を活用したり、実際に動いて示したりしながら説明する。 ●力試しの運動の工夫の仕方について、学習資料やＩＣＴ機器を活用したり、実際に動いて示したりしながら説明する。
	力試しの運動の工夫の仕方の例 ○運ぶ相手や距離を選ぶ  ○人数を増やす  ◆学習評価◆ 主体的に学習に取り組む態度 ③きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合おうとしている。 ➡ 学習のきまりを守り、ペアやグループの友達と仲よく励まし合おうとしている姿を評価する。（観察・学習カード） ○きまりを守ることに意欲的でない児童への配慮の例 ➡ きまりを守ることで安全に運動ができることに気付くことができるようにするとともに、守ることができたことを取り上げて称賛するなどの配慮をする。 ○課題の解決のために考えたことを伝える。	●きまりを守ろうとしている様子を取り上げて、称賛する。 ●考えたことを伝えて、称賛する。
5分	7 本時を振り返り、次時への見通しをもつ 本時の振り返り ・運動の行い方を工夫して、見付けたことや考えたことを書きましよう。 ・誰とでも仲よく励まし合うことについて、気付いたことや考えたことを書きましよう。  ○振り返りを発表して、友達に伝える。 8 整理運動、場や用具の片付けをする 9 集合、健康観察、挨拶をする	●振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに、気付きや考えのよさを取り上げて、称賛する。 ●適切な整理運動を行うように伝えるとともに、けががないかなどを確認する。

本時の目標と展開④（16／16時間）

本時の目標

- (1) 基本的な動きを組み合わせる動きをすることができるようにする。
- (2) 多様な動きを身に付けるための運動の行い方について、考えたことや見付けたことを友達に伝えることができるようにする。
- (3) 多様な動きをつくる運動に進んで取り組むことができるようにする。

■ 本時の展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点
10分	1 集合，挨拶，健康観察をする 2 本時のねらいを知り，目標を立てる 基本的な動きを組み合わせる運動を紹介し合って，学習をまとめよう ○本時のねらいを知り，自己の目標を立てる。 3 場や用具の準備をする ○グループで協力して，準備をする。 4 準備運動，体ほぐしの運動をする ○グループで準備運動をする。 ○学級全体で体ほぐしの運動をする。	●学習カードを配り，立てた目標を記入するように伝える。 ●安全な準備の仕方を確認する。 ●けがの防止のために適切な準備運動を行うように伝える。 ●学習した運動の中から選んだ体ほぐしの運動の行い方について，実際に動いて示しながら説明する。
25分	5 基本的な動きを組み合わせる運動をする ○運動の行い方を選んだり友達と工夫したりして，基本的な動きを組み合わせる運動をする。 場の設定の仕方の例 バランスを取りながら移動する  平均台を渡りながらボールをつく  力試しをしながらリレーする  転がしたフープをくぐる ○選んだ運動や工夫した行い方を紹介したり，他のグループが選んだ運動や工夫した行い方を試したりする。 ○課題解決のために考えたことを伝える。	●進んで取り組もうとしている様子を取り上げて，称賛する。 ◆学習評価◆ 主体的に学習に取り組む態度 ②多様な動きをつくる運動に進んで取り組もうとしている。 ➡ 基本的な動きを組み合わせる運動やグループの工夫した行い方を紹介し合う活動などに進んで取り組もうとしている姿を評価する。(観察・学習カード) ●考えたことを伝えていることを取り上げて，称賛する。
10分	6 単元を振り返り，学習のまとめをする 単元の学習の振り返り ・単元の学習の目標で，達成したことを書きましょう。 ・学習したことで，今後の学習や生活の中で取り組んでいきたいことを書きましょう。 ○振り返りを発表して，友達に伝える。 7 整理運動，場や用具の片付けをする 8 集合，健康観察，挨拶をする	●振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに，気付きや考えのよさを取り上げて，称賛する。 ●適切な整理運動を行うように伝えるとともに，けががないかなどを確認する。

多様な動きをつくる運動の取扱い

【第3学年における指導と評価の計画（例）】

時間		1	2・3	4	5～8	9～12	13～15	16
ねらい		学習の見通しをもつ	活動を工夫して体ほぐしの運動を楽しむ	学習の見通しをもつ	多様な動きをつくる運動を楽しむ		活動を工夫して基本的な動きを組み合わせる運動を楽しむ	学習のまとめをする
学 習 活 動		オリエンテーション ○学習の見通しをもつ ・学習の進め方 ・学習のきまり ○体ほぐしの運動 みんなで運動をする	体ほぐしの運動 ○体ほぐしの運動 ・自己や友達の心と体の変化に気付く ・みんなで豊かに関わり合う ○学習のまとめをする	オリエンテーション ○学習の見通しをもつ ・学習の進め方 ・学習のきまり ○多様な動きをつくる運動 みんなで運動をする	多様な動きをつくる運動 ○体を移動する運動 ・いろいろな運動をする ・運動の行い方を工夫する ○用具を操作する運動 ・いろいろな運動をする ・運動の行い方を工夫する	多様な動きをつくる運動 ○体のバランスをとる運動 ・いろいろな運動をする ・運動の行い方を工夫する ○力試しの運動 ・いろいろな運動をする ・運動の行い方を工夫する	多様な動きをつくる運動 ○基本的な動きを組み合わせた運動 ・いろいろな運動をする ・自己に適した運動を選ぶ ○運動の組合せ方を工夫する 自己に適した運動を選ぶ	
評価の重点	知識・技能	① 観察・学習カード		② 観察・学習カード	④・⑤ 観察	③・⑥ 観察	⑦ 観察	
	思考・判断・表現		①・③ 観察・学習カード				②・④ 観察・学習カード	
	主体的に学習に取り組む態度		① 観察・学習カード		④・⑥ 観察・学習カード	③・⑤ 観察・学習カード		② 観察・学習カード

【多様な動きをつくる運動の単元の取扱い】

- 年間を通して指導すること
- 多様な動きをつくる運動は、様々な基本的な動きを運動を通して培うことをねらいとしていることから、本手引では、他の領域の各内容と比べて単元の時間数を多く設定しています。上記の計画を参考に授業を行う際は、学校の実態などに応じてある程度の時間で数回に分けて年間指導計画の中に位置付けるなどの工夫をしましょう。

【多様な動きをつくる運動の内容の取扱い】

- **2 学年間にわたって指導すること**
小学校学習指導要領に『A 体づくりの運動』については、2 学年間にわたって指導するものとする。』とあるように、中学年の「多様な動きをつくる運動」は、第3 学年と第4 学年の両方で指導するように年間指導計画を作成しましょう。
第3 学年は、行いが易しく、基本的な体の動きを幅広く培いやすい多様な動きをつくる運動ができるよう、本手引を参考にするなどして第3 学年に適した運動を選んで取り扱うようにしましょう。なお、小学校学習指導要領解説体育編に、固定施設を使った運動は、低学年では「器械・器具を使つての運動遊び」の内容として示していますが、体の基本的な動きを培う運動としても適していることから、中学年においては多様な動きをつくる運動で取り扱うようにしましょう。
- **将来の体力の向上につなげるため、基本的な体の動きを培うこと**
体づくり運動系は、体力を高めるために行われる運動を取り扱う領域ですが、中学年においては発達の段階から体力を高めることを学習の直接の目的とすることは難しいことから、将来の体力の向上につなげていくために、基本的な体の動きを幅広く培うことができるようにしましょう。
- **運動と健康が密接に関連していることについての具体的な考えをもてるよう指導すること**
多様な動きをつくる運動に限らず、運動領域の各領域においては、保健「健康な生活」の学習と関連付けて学習することで、児童が運動と健康が密接に関連していることに考えをもてるように指導しましょう。

【多様な動きをつくる運動の評価】

- 各領域と同じく、技能に関する評価規準を設定すること
- 多様な動きをつくる運動の指導内容は、「知識及び運動」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」としています。これは、多様な動きをつくる運動は、様々な基本的な体の動きを身に付け、動きの幅を更に広げていくとともに、動きの質を高めることが主なねらいであり、特定の技能を示すものではないことから、各領域と同じ「知識及び技能」ではなく、「知識及び運動」としているものです。
- 一方で、評価においては、各領域と同じく「知識・技能」の評価の観点に技能に関する評価規準を設定して、多様な動きをつくる運動で培う様々な基本的な体の動きができることを評価しましょう。